

【概要】我が国の経済社会を牽引する高度経営人材養成の在り方について（報告）①

＜我が国の経済社会を牽引する高度経営人材養成の必要性＞

＜背景＞

- 人口減少社会、技術革新、グローバル化が進み、**産業構造が大きく変化**することが予想されている。
- 我が国の企業が持続可能な成長を実現するためには、企業社会のあるべき姿を構想し、**今後の我が国の経済を牽引していく人材（高度経営人材）の養成が急務**。
- 国境を越えた企業活動が日常化する中で、**多様性に対応できる高度経営人材の養成は喫緊の課題**。
- 拡大を続けるアジア経済圏の中でそうした人材の養成・輩出を**先端的にリードする場が我が国にはない**。

高度経営人材養成へのニーズ



・経営人材(グローバル/地域/ファミリービジネス)

SDGsやESGといった社会ニーズの変化やIoTやAI等の技術革新等の社会状況の変化を踏まえた上で、我が国の企業経営のあるべき姿を考え、その実践に向けた**高い視座**とマインドセットを有している人材を社会に送り出すことは喫緊の課題

- ・SDGs(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)やESG (Environment, Social, Governance)等の**社会ニーズの変化**
- ・IoTやAI等の技術革新を含む**社会状況の変化**(Society5.0、グローバル化と多様性、人生100年時代等)

高度経営人材のイメージ

- ・我が国と世界の間にあるギャップを認識した上で、日本発・アジア発のビジネスをリードしていく人材
- ・長期視点に立って、先を見通せないこれからの時代に企業社会を牽引する**ビジョンをバックキャスト**により描くことのできる人材
- ・**多様性**が進む社会の中で**組織の理念を構想し、その実現に向けた活動を計画・実践**できる人材

我が国の企業経営を牽引する人材に求められる**視座の高度化**

- ⇒ **予測困難な時代**において、我が国の企業経営の在り方を考え、状況変化に**柔軟に対応できる視座**の獲得が必要

【我が国の人材養成への危機意識】

- ☑ **アジアを中心に海外においては、教育によって経営人材の高度化が進められている。**
- ☑ **海外のビジネススクールでは、次世代のビジネスシーンをリードできる経営人材を養成するため、産業界のニーズを積極的に吸収し、教育の高度化を推進している。**

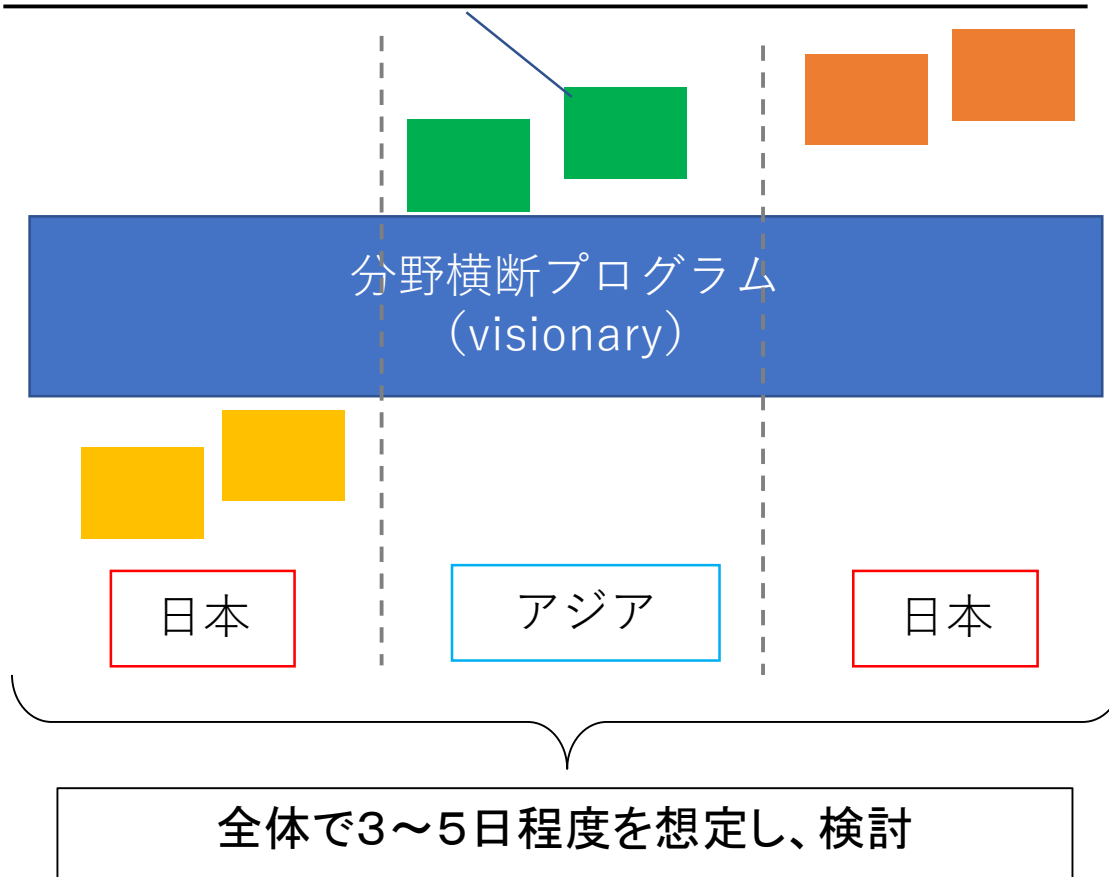
・経営スキル

ファイナンス、マーケティング、ガバナンス、リスクマネジメント 等

- ⇒ ファンダメンタルな**スキル**とその**応用能力**の修得

高度経営人材養成のための教育プログラム

分野横断プログラムをコアとしつつ、経営領域の基礎的内容・応用コンテンツを横断プログラムの進捗に合わせて配置



対象は誰か？

勤務経験15年以上の役員候補、あるいはそれに準ずる中核人材

- ⇒ 受講者間相互のネットワークを有効に活用可能
- ⇒ 経営に関する基礎的な理論知識と実践経験がプログラムの履修を効率化

プログラムの内容は？

長期的に在るべき経済社会の姿を描き、そこからバックキャストすることによって、自社の経営課題や不足している視点を考え、分野横断的に知識を融合できるプログラム

- ⇒ ファンダメンタルなスキルやその応用能力の教授は、大学サイドが主に担当

＜高度経営人材を輩出するための推進体制の在り方＞

推進体制(協会)の必要性

世界有数のビジネスの集積地である東京に、**産学の連携・共創**により**ビジネス教育の拠点を創出(知的重力場の形成)**

グローバルベース、あるいはリージョナルベースで活躍する人材を拠点に集積し、**日本の知見をベースに、これからの世界の規範となるビジネス教育モデルを創出**

→ 我が国の**持続可能な経済成長**を牽引する人材（**高度経営人材**）を養成

期待される成果

経済社会を出発点として**国や世界の在り方をデザイン**していくことができる高度経営人材を育成

大学や産業界のメンタリティの变革、産学連携に向けた風土の醸成

海外のビジネススクールや教育機関と協働し、**各国共通の社会的な利益の創出や発展**を実現



循環関係にあり、常にそれぞれを見直し、拡張していく

管理・運営・改善等

エデュケーション・フォー・ビジネスを実践

協会活動の賛同企業を増やしつつ、**プログラム受講期間や規模・内容を充実**

プログラム運営に加え、**提供プログラムの持続可能性を確保**するために、**経営課題の調査・研究と教育プログラムの研究と発信**を進め、**教育方法・教材・スタッフ**を拡充